

東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホーム シンフォニア

～ごあいさつ

10月4日の中秋の名月を過ぎたら、朝晩の冷え込みなどめっきり秋らしくなってきたように思います。

今年の十五夜は、秋の夜空に月がくっきりと浮かんで、子供のころススキやお団子を供えて月を眺めたことを思い出しました。施設でも季節を感じられるような行事をいろいろと企画し実施しておりますが、昔を偲び楽しめる行事を今後も増やしていきたいと考えております。

昔を偲ぶというと、今年の4月号でも利用者それぞれの自分史を作ってみたらどうかと提案させていただきましたが、皆さんが昔の思い出を話されるときは、その時々的情景が蘇るのか生き生きと楽しそうに話されます。

利用者の皆さん一人一人の歩んできた歴史を綴る作業は、職員にとっても大事な情報となり、日々の皆さんとの会話にも大いに役立つことになると思います。過去を振り返りながら思い出に残る出来事などをつづる作業をお手伝いできればと考えております。御家族からの情報なども寄せていただければ、深みのある自分史になるとと思いますのでご協力よろしくお願ひいたします。

さて、先日は施設での敬老会を開催させていただきました。

当日は大坪日野市長を始め多くのご来賓やご家族にご参加をいただき、野花の生け花や琴の演奏、茶だて、職員によるスコップ三味線と、和をテーマに企画し演出した雰囲気の中で長寿を祝うことができました。

施設での最高齢は百寿を迎えた志摩さんですが、90歳を超える方が3割を超え、全体でも日本の平均寿命を上回る長寿者の暮らす施設となっています。

通信先月号で理事長が105歳まで現役で頑張られた聖路加病院の日野原先生の活躍を紹介されていましたが、利用者の皆さんにとっても日常を目的や役割をもって過ごすことは大変重要なことだとおもいますし、施設での生活をより楽しく張りのあるものにしていくのではないかと思います。

そのためには、シンフォニアらしさを更に育て、新たな魅力づくりにつなげることができればと考えています。

ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム シンフォニア

施設長 檜村正男



9月17日(日) 敬老会

いつもより少し豪華なお祝いの敬老御膳(昼食)を召上がり、晴れ着に着替え、敬老会がスタートしました。

日野市長をはじめ、沢山のご来賓の方々にお越しいただき、皆様からお祝いの言葉を頂戴しました。松山先生の歌と、お琴のステージをご覧になりながら、お抹茶と和菓子を頂きました。

職員の出し物は「スコープ三味線」。スコープを三味線に見立て、「浪花節だよ、人生は」を演奏しました。皆様も一緒に口ずさみ、短い時間でしたが、とても楽しいひと時を過ごしました。

当日は台風の影響で生憎のお天気にも係らず、沢山のご家族様に参加して頂き、職員一同心よりお礼申し上げます。



楽しいハロウィンの飾り付けしました♪

